

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

※青字 例文 適切なものを選択し、必要に応じ、研究に合わせて修正して下さい。

以下、本文-----

研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

白内障手術における術後屈折度の予測精度 に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2016年12月～2018年3月に当院で白内障の手術を受けられた方で矯正視力が0.7以上の方

2. 研究目的・方法

白内障手術において適切な眼内レンズの度数を決定することは白内障手術術後の患者満足度向上につながり、同手術における重要な点の一つである。

術前の予測屈折度は切開や水晶体除去などにより術後誤差が生じることがあり、当院ではORA systemTMを導入し屈折値の誤差が最小限になるよう手術を実施している。ORA systemTMにより測定された術直後の屈折度と術1ヶ月後の屈折度を比較し、術前後の誤差に寄与する因子を検討する。

本研究は学術研究であり、昭和大学横浜市北部病院で白内障手術を施行された患者データを利用する。患者データは病院内の診療録管理室にて「9. 診療録等の調査項目」に記載した情報を取得する。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有する。

研究期間

2016年12月から2018年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術方法、術後合併症、屈折度、カルテ番号、性別、年齢

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院眼科 氏名： 摺木 友美

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000

研究責任者：

所属：昭和大学横浜市北部病院眼科 研究責任者： 摺木 友美